

2013年度 聖路加看護学会 評議員会報告

日 時：平成25年9月27日（金）18：00～19：27

場 所：聖路加看護大学2号館 4階講義室

出席者：評議員17人（うち理事8人・監事1人）、第18回大会長（秋元評議員）・第19回大会長（森田評議員）、委任状14通

<報告事項>

1. 理事会報告（山田理事長）

(1) 理事会報告：2013年度総会での報告は、2012年度（1年6か月）報告を行う。2013年4月～9月の活動は、総会資料に含まれていない。2014年度の事業と収支について、今年度の総会にお諮りし、2013年度の事業および予算は、昨年度の総会にて承認されている旨確認された。

(2) 2012年度は11回の理事会を開催した。法人化に向けて、会計業務を税理士に委託した。

学会誌投稿規程の改定、編集業者の変更を行った。以上の2点が大きな活動であった。

(3) 2013年度は、2013年9月27日に開催された第2回理事会において、法人化について審議を行った。NPO法人と一般社団法人が法人候補として検討されるが、600人を超える会員となり、社会的信用を得るためにも法人化が適当であり、現行の理事会にて2015年度法人化に向けての準備を始めることとなった。

2. 庶務（森理事）：資料に基づき、会員管理、広報活動などについて報告された。

3. 会計（井部理事）：公益法人会計基準に基づく会計管理、所得税管理、等を実施した。2012年度の会費納入は85%であり、公益法人会計基準に基づく会計管理を行っており、法人化の準備が整いつつある旨、報告された。

4. 学会誌編集委員会（亀井理事）：資料に基づき、学会誌の刊行状況、著者の会費納入状況の確認の徹底、編集業務委託先の変更、投稿規程の改定、編集作業の効率化について報告された。編集作業の効率化については、査読期間の短縮化のため投稿・査読オンライン化の検討を行ったことが報告された。

5. ニュースレター委員会（小山理事）：ニュースレターの発行30号、31号、HP管理について報告された。

6. 学術交流委員会（松谷理事、佐藤理事）：学術交流集会の開催（参加者90人）および企画、研究助成（2013年度4件中2件採択）の実施について報告された。

7. 高度実践看護開発検討委員会（山田理事長）：看護系学会等社会保険連合から依頼のあった、「看護ケア技術のリストアップ（1次調査）のお願い」についての意見をとりまとめ、回答した。また、あわせて、看護外来についての調査を看保連の研究助成金にて実施予定である旨、報告された。

<審議事項>

1. 2012年度（2011年10月1日～）会計および監査報告（井部理事）：収支計算書について報告された。2012年度より、

法人化に向け、学術大会収支が全体予算に組み込まれている旨、説明された。菊地監査より、会計及び業務の監査を行い会則に違反する重大な事実はないと認めた旨、報告された。

2. 2014年度事業計画案（山田理事長）：次年度の事業計画のなかでも、学会組織強化について、下記の説明があった。法人化は、前々期の田代理事長時代の将来構想委員会での検討事項に含まれていた。日本学術会議から法人化を進めるように、との通知があり、学会は法人化の方向性であると考えられる。次年度、定款案を作成し、評議員、会員に諮る予定である。多くの人のご意見等いただきたい。総会は時間的余裕がないため、事前に意見を得たいと思っている。

山田理事長からの説明後、下記の発言があった。

・600人を超える安定した会員数を維持し、研究助成などの学術的な活動も継続的に行われており、聖路加看護学会も法人格を得ることは妥当だと思われる。

・法人化についての反対意見はなく、平成25年度一般社団法人化に向け準備を開始することが承認された。

3. 2014年度予算案（井部理事）：学会誌編集委員会；投稿・査読システムオンライン化の初期投資50万円、ランニングコストが含まれている。庶務費用；法人化にむけた諸費用を追加した。選挙管理委員会；来年度は選挙が予定されており、13万円を計上している。次年度の単年度は、オンライン化初期費用、法人化の準備、選挙があり赤字予算だが、次々年度は黒字化すると思われるため、赤字決算としている。予算案について異議はなく、2013年度予算額の学術大会の金額と事業活動収入計の転記ミスを修正し、総会資料とすることとなった。

4. 選挙管理委員会について（山田理事長）：次年度は評議員選挙の予定である。選挙管理委員として、平林優子氏、吉川久美子氏、八重ゆかり氏の3人の会員の内諾を得ている。来年9月の総会にて結果を報告予定である。今後、法人化にむけて評議員数を確認する必要がある。

5. 第20回学術大会長の推薦：松谷理事が推薦され、承認された。明日の総会にて諮られる。2015年度9月19日（土）を予定している、とのことであった。

6. 総会プログラムの確認：総会プログラムが確認され、修正事項等なく明日の総会開催が予定されることとなった。

7. その他：第19回学術大会長森田夏実評議員より挨拶があった。学会の開催は2014年9月20日（土）に聖路加看護大学にて、「「経験」を語る、聴く、わかちあう」をテーマに、開催されることが紹介された。

8. 第18回学術大会企画委員会（秋元大会長）：事前申し込み222人（非会員130人、大学院生8人）、名誉会員4人参加予定、広告7社、出展3社、会場準備は滞りなく終了した。聖路加看護大学認定看護師教育課程訪問看護コース受講生が、授業の一環として、運営スタッフとして参加する

以上